

千代田中だより

学校経営方針 「チーム千代田」

文責：本橋 一夫

坂戸市立千代田中学校 第25号 令和5年12月1日

学校教育目標
自立の力を育む

- ・志を立て、自ら意欲的に学ぶ生徒
- ・思いやりと感謝の心を持ち、
集団に貢献する生徒
- ・心身を鍛え、たくましく生きる生徒

目指す学校像

- ・笑顔と感動あふれ
地域に信頼される学校

第2回 学校運営協議会

11月24日(金)に、第2回学校運営協議会を実施しました。第1回の学校運営協議会でのテーマは、学校と家庭・地域との連携に設定しましたが、今回も引き続き、その後の家庭・地域との連携について報告ののち、検討していただきました。

第1回でいただいたご意見は、以下のものでした。

- 地域内でコミュニケーションをとること自体ができていない部分があり、さらに地域と学校を結び付けるのは、かなり難しい課題である。
- 地域との連携の取っ掛かりとしての学校だよりの回覧や除草作業のお願いなどはよいのではないかと。
- コロナ以前は年に4、5回地域清掃を行っていた。この時に中学生も行っていたことがあり、そのようなこともよいのではないかと。
- 校地内の畑の雑草がどうにかならないものかとも考えたことがあり、これも地域にお願いできるのではないかと。
- 市役所の教育委員会以外の部署との連携もとる必要がある。



これらのご意見を受けて、この後、千代田中として家庭や地域との連携をこれまでにどのように行ってきたかを以下のように説明させていただきました。

■吹奏楽部 第2回定期演奏会 5月14日(日)

4月からは、コロナの制限がなくなった。坂戸市文化会館に多くの生徒、保護者、地域の皆様を集めて、盛大に定期演奏会を開くことができた。大盛況だった。

■体育祭 5月20日(土)

昨年度は、コロナのまん延防止の観点から一家庭につき保護者一名の参観と制限をかけての体育祭の開催だったが、今年度は、人数制限をはずして実施することができた。

ここにおいでの方の委員の皆様や来賓の方からは、

「グラウンド整備を率先して行っている生徒の姿、競技に全力で取り組む姿にとっても感激しました。」

「環境の悪い中でも、全力で取り組む姿に感動しました。」

等の感想をいただいた。

■高等学校体験授業(3年) 7月6日(木)

筑波大附属坂戸高校・県立坂戸高校・山村国際高校の先生方を招いて、それぞれの学校の特色の説明や授業の体験を行った。

■学校給食運営協議会 7月6日(木)

PTAの役員さんに学校給食の運営状況について、給食の試食とともに意見をいただく取り組み。自宅でもお子様と給食についてよく話をしていることや工夫された給食を生徒が食べていることに感謝の言葉があった。

■民生児童委員と学校との連絡会 7月21日(金)【福祉総務課との関連】

民生児童委員さんから、本校の生徒について、心配に思っていることはないか、課題になっていることはないかななどの話を聞き、課題についてはその解決に向けて、手立ては打てないかななどの話し合いを持った。

昨年度は、コロナがまん延している時期であり、一部の委員さんにしか声がけをできなかったが、今年度は該当する全ての委員さんにお声がけをして実施することができた。

■青少年育成千代田中学校地区会議 7月21日(金)【社会教育課との関連】

この会議は地域住民相互の連携協力を図り、次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的としている。昨年度はコロナ感染拡大防止のために「安全・安心パトロール」を実施できなかったが、今年度は、分担して地域の事業所を訪ね、青少年の健全育成に向けて直接お願いができた(ただし、市民体育祭で実施予定だった非行防止啓発活動については市民体育祭が雨天中止となったために実施できなかった)。

■吹奏楽部の地域行事への参加(8月~11月にかけて)

本校吹奏楽部が地域のお祭り(若葉台団地のお祭り他)や公民館(千代田公民館)の文化祭において、楽曲を演奏することを通して地域との触れ合いを行った。

昨年度までは、これもコロナまん延防止のために、参加がかなわなかった。

■ふれあい除草 8月29日(火)

保護者と生徒がともに校地の除草作業を行う取り組みに、7月に発行した回覧を使って、地域の方に参加を呼び掛けることができた。実際には地域の方の参加はなかったが、地域連携の一步は踏み出すことができた。

■若葉祭(合唱コンクール) 10月27日(金)

昨年度は、コロナの関係で、生徒1名につき、保護者1名の参観という制限付きでの合唱コンクールであったが、今年度は、人数制限なく保護者、その近親者の方をお呼びして若葉祭を実施することができた。地域の皆様には呼びかけてはいないが、生徒と同居していない祖父母等の参加もあり、地域との連携でも一定の成果があったのではないかと。『とても素晴らしい演奏でした』という多くの感想をいただいた。

その後、委員の皆様からご意見をいただきました。主なものを紹介します。

○講演会を参観したが、子どもたちが落ち着いていることがわかる。挨拶もよくしてくれる。

○地域とのつながりでは、中学生が地域行事に積極的に参加する方法を考えることが必要ではないか。

⇒学校に情報をもらえれば、生徒に伝えていくことができ、参加を促すことができる。

○ふれあい除草について、回覧で回したということだが、地域の人が見ていないのではないかと。区長に直接話を入れておけば、違った状況になる。

○不登校が課題となっているが、小中の連携を大切にすることが必要。

⇒6年生の卒業時に、小中の連絡会を開いて、気になる子供の情報共有を行っている。

⇒小学校でも「中学校に行って学校に行けなくなることがない子供を育てよう」と繰り返し教員に話している。

○不登校については、先生方に引き続きサポートをお願いしたい。

○コロナの制限がなくなり、保護者が学校に来る機会が増えてありがたい。

○部活動の日数や時間に制限ができ、部活をやりたい子にとっては物足りない。クラブチームに入るとか合同部活動になっていく状況はどうか。

⇒千代田中だけの問題でなく、国、県、市の方針に則りやっており、折り合いをつけるのが難しい。

○社会体験事業(3デイズチャレンジ)で、将来を決めた生徒もいる。復活させてほしい。また、夢を持っていない生徒のフォローをお願いしたい。